大正十四年五月末現在

合計　三、〇名

註

本組合ハ大正十三年十月創立以来急速ノ発展ヲ遂ゲ翌十四年二月ニハ一千六百名ノ多数ノ組合員ヲ有スルニ至リタルガ三月初旬以来脱会者続出シ五月末ニ至リ僅カニ二三百名ヲ算スルニ至リタリテアルガ其ノ脱会者続出ノ主ナル原因トテ列挙スレバ即チ左ノ如クデアル。

一、多数ノ組合員ハ一時ノ熱狂ニ駆ラレ勧誘サレルガママニ無意識ニ入会シタル事。

二、地主側ニ於テ御用組合ヲ各部落ニ組織シテ組合側ニ対抗シ其ノ切崩シヲ策シタル事。

三、経指導者ノ不況ハ職責セラレ先ヅ隙他ニ職業口ヲ見出スニ困難ナルヲ慮リ解雇ヲ恐レタル事。

四、総同盟本部ニ内訌アリタルガ為メ資金ノ欠乏ト相俟ッテ充分ノ活動ヲナシ得ザリシ事。

五、警察側ノ内偵明ヲ得組合側ノ策謀ヲ最モ正確迅速ニ探知シテ彼等ノ一挙一動ニ先ンジテ対策ヲ施シ其ノ影響ノ吸収ナカラシメタル事。